

岩の上に建てるシリーズ

聖餐式の学び

目次

- Step 1 聖餐式について
- Step 2 永遠のいのちの確認
- Step 3 罪の赦しの確認
- Step 4 主と一つであることの確認
- Step 5 聖徒は一つであることの確認
- Step 6 聖餐式の心構え
- Step 7 聖餐式の原型から学ぶ

Step1 聖餐式について

① I コリント 11 章 23 節～26 節を読んでください。

(23 節～24 節)

主イエスはパンを取り、何と言われましたか？

これはあなたがたのためのわたしのからだです。
わたしを覚えてこれを行いなさい。

(25 節)

主イエスは杯を取り、何と言われましたか？

この杯はわたしの血による新しい契約です。
わたしを覚えてこれを行いなさい。

(26 節)

私たちはパンを食べ、杯を飲むたびに何をしなければなりませんか？

主が来られるまで、主の死を告げ知らせる

聖餐式とは主イエスを覚えて行うものです！

聖餐式とは、「主イエスを覚えて行うもの」です。

イエス様の「御からだ」と「流された血」を覚えて行うべきものです。

主イエスご自身が「わたしを覚えて行いなさい」と命じられたのです。

聖餐式は、主イエスが命じられた大切な聖礼典です。

Step2 永遠のいのちの確認

① ヨハネ6章48節～51節を読んでください。

(48 節)

イエス様は、ご自身を何であると言われましたか？

いのちのパン

(51 節)

天から下って来たパンを食べたならばどうなりますか？

永遠に生きる

(51 節)

イエス様が与えてくださるパンとは何ですか？

世のいのちのためのイエス様の肉

② I ヨハネ5章11節～13節を読んでください。

(11 節)

神は、何を与えてくださいましたか？

永遠のいのち

(12 節)

御子を持つものは何を持っていますか？

いのちを持っている

(13 節)

あなたは神の御子の御名を信じていますか？

あなたは永遠のいのちを持っているという確信がありますか？

答えは、各自で考えてください

聖餐式とは永遠のいのちの確認です！

イエス様は、私たちに「永遠のいのち」を与えるために、
ご自身のいのちを捨ててくださいました。
聖餐式は、主イエスが「永遠のいのち」を与えてくださったことを
確認するために行うものです。
御子イエスを持つ者は「永遠のいのち」を持っているのです。

ローマ 6：23

**罪の報酬は死です。しかし、神の賜物は、私たちの
主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。**

Step 3 罪の赦しの確認

① マタイ 26 章 27 節～28 節を読んでください。

(28 節)
イエス様は、杯について何と言われましたか？

これは多くの人のために、
罪の赦しのために流される、わたしの契約の血です

② I ペテロ 1 章 18 節～19 節を読んでください。

(19 節)
あなたは、何によって贖い出されましたか？

傷もなく汚れもない子羊のようなキリストの尊い血によって

③ Iヨハネ1章7節～9節を読んでください。

(7節)

御子イエスの血は何をしてくださいますか？

御子イエスの血は、すべての罪から私たちをきよめてくださる

(9節)

自分の罪を告白するなら、神は何をしてくださいますか？

その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます

④エペソ1：7を読んでください。

(7節)

私たちは、キリストにあって何を受けていますか？

その血による贖い、背きの罪の赦しを受けています

(7節)

あなたは、血による贖い、罪の赦しの確信がありますか？

答えは各自で考えてください

聖餐式とは血による贖い、罪の赦しの確認です！

私たちは、キリストの血によって贖われました。
イエス様の流された血によって、私たちは罪の赦しを受けています。

ヘブル 9：22

**律法によれば、ほとんどすべてのものは血によってきよめられます。
血を流すことがなければ罪の赦しはありません。**

イエス様は、ご自身の血をすべて流してくださいました。
私たちは「その血による贖い」を受けたのです。
私たちは「キリストの血」という代価を払って買い取られました。
ですから、私たちの罪は「告白するならば」すべて赦されるのです。
聖餐式とは、主イエスの流された血により、すべての罪が赦されたことを確認するために行うものです。

Step4 主と一つであることの確認

① ヨハネ6章56節～58節を読んでください。

(56節)

イエス様の血と肉にあずかる者は誰のうちにとどまりますか？

イエス様のうちにとどまる

(57節)

イエス様を食べる人は、誰によって生きますか？

イエス様によって生きる

イエス様の「肉と血」にあずかる人は、イエス様のうちにとどまります。

また、イエス様も、その人のうちにとどまってくださいます。

食べたものは、その人の体の一部となるでしょう。それは、食べた人の栄養となつて、その人を生かすものとなります。

イエス様は、私たちにとって「生かす方」です。

そのことを「食べる」という表現で教えてくださったのです。

② ヨハネ6章 60～68 を読んでください。

(63 節)

イエス様の話してきた「ことば」とは何ですか？

霊でありいのち

(66 節)

なぜ多くの弟子たちはイエス様から離れ去ったのだと思いますか？

いろいろ考えてみてください。

例えば…

イエス様の言われたことばを理解できなかったから

血と肉という表現を受け入れられなかったから

霊的なことがわからなかったから

等々

(67 節～68 節)

イエス様の質問に、ペテロは何と答えましたか？

イエス様の質問に、あなたなら何と答えますか？

ペテロは、私たちは誰のところに行けるでしょうか。

あなたは、永遠のいのちのことばを持っておられますと答えた。

あなたなら何と答えますかの問いは、各自で考えてください

③ ガラテヤ2章 19 節～20 節を読んでください。

(19 節)

あなたはキリストとともに十字架につけられたと信じていますか？

私は、信じています

(20 節)

誰があなたのうちに生きておられますか？

キリストが私のうちに生きておられる

(20 節)

今、あなたが肉において生きているいのちは、何によるものですか？

私を愛し、私のためにご自分を与えてくださった、
神の御子に対する信仰によるもの

聖餐式とは、主と一つとされたことの確認です！

聖餐式とは「私のうちにキリストが生きておられる」ということを確認するためのものです。

私たちは、信仰によって「パン」と「杯」にあずかります。

そして、イエス様のいのちが私のうちにあることを確認します。

私たちは、聖餐式にあずかるたびに「もはや、私ではなくキリストが私のうちに生きておられる」と告白するのです。

Step5 聖徒は一つであることの確認

- ① I コリント 10 章 16 節～17 節を読んでください。

(17 節)
大勢いる私たち（聖徒）が一つなのは何故ですか？

皆がともに一つのパンを食べるので

- ② ローマ 12 章 4 節～ 5 節を読んでください。

(5 節)
私たちは、キリストにあって何でしょう？

ひとつのからだ

- ② I ヨハネ 4 章 11 節～12 節を読んでください。

(12 節)
どうすれば、神の愛が全うされるのでしょうか？

私たちが互いに愛し合えば

聖餐式とは、主にある聖徒が一つである確認です！

聖餐式とは、聖徒がみな「キリストにあって一つ」であることを確認するためのものです。

私たちは、主イエスのパンと杯にあずかり互いの間の愛を確認するので

Step6 聖餐式の心構え

① I コリント 11 章 26 節～31 節を読んでください。

(27 節)

ふさわしくない仕方でパンを食べ、杯を飲むことは何に対して罪を犯すことですか？

主のからだと血

(28 節)

パンを食べ、杯を飲む前に何をすべきですか？

自分自身を吟味する

(29 節)

みからだを「わきまえない」とは、どういう意味だと思いますか？

各自、考えてください。

例えば

- 罪の告白をせず聖餐式にあずかること
- 十字架の御業を自分のものとして信じていないこと
- 兄弟姉妹を憎んでいること

(26 節)

聖餐式にあずかる者は、何を告げ知らせなければなりませんか？

主が来られるまで、主の死を告げ知らせる

(26 節)

あなたは、主イエスが再び来られることを信じていますか？
主イエスが、再び来られるまで主の死を告げ知らせますか？

各自、考えてください

自分を吟味することは大事なことです！

聖餐式は、とても大切な礼典です。

それは形式的な儀式として扱ってはいけないものです。

聖餐式にあずかる前には、必ず静まりましょう。

そして、イエス様の十字架について思いを巡らせましょう。

また、再び来られるイエス様を思い見ましょう。

私たちは、主イエスが再び来られることを信じて聖餐式にあずかります。

そして、その日が来るまで、主の死を告げ知らせることを新たに決意します。

私たちは「自分自身を吟味して、その上でパンを食べ、杯を飲む」のです。

Step1 聖餐式の原型から学ぶ

① 創世記 14 章 17 節～24 を読んでください。

(18 節)

サレムの王メルキゼデクは、アブラムに何を持って来ましたか？

パンとぶどう酒

(20 節)

アブラムは、メルキゼデクに何を与えましたか？

すべての物の十分の一を与えた

(21 節)

ソドムの王は、アブラムに何と言いましたか？

人々は私に返し、財産はあなたが取ってください

(23 節)
アブラハムは、ソドムの王に何と言いましたか？

糸一本、履き物のひも一本さえ、私はあなたの所有物から何一つ取らない。それは「アブラハムを富ませたのは、この私だ」とあなたが言わないためだ

(17 節～24 節)
サレムの王メルキゼデクは「パンとぶどう酒」でアブラムを祝福しました。
ソドムの王は「財産はあなたが取ってください」と言いました。
なぜ、アブラムはメルキゼデクを選んだのでしょうか？
あなたなら、どちらを選びますか？

各自で考えてください
主の栄光を他の人に与えないため
自分は、主だけに頼って生きているのだという宣言
等々

これは「聖餐式の原型」です。イエス様は「メルキゼデクの位に等しい大祭司」です。
これは、少し長くなる話なので今回は詳しくは学びません。(興味があるならばヘブル書を読んでみてください。またいつか一緒に学べればと願っています。)

ここで覚えて欲しいことは、アブラムが「ソドムの王を退けた」ということです。

「霊的ないのち」と「この世の富」が差し出されたとき、あなたならどちらを選ぶでしょう。
あなたが「主イエスのパンと杯」にあずかりたいと願うなら「この世のもの」を選ぶことはできません。聖餐式にあずかることは「世と決別する」という表明なのです。

だれも二人の主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛するか、一方を重んじて他方を軽んじることになります。あなたがたは神と富の両方に仕えることはできません。マタイ 6：24

私たちは、聖餐式にあずかるたびに「選び取っている」のだということを覚えていてください。私たちは「世の中の差し出すもの」を退けます。そして、イエス様の差し出される「御からだと流された血」を選びます。主は、私たちを大いに祝福してくださるでしょう。

聖餐式にあずかることは喜びです！

私たちは告白します！

1. 私たちは、主イエスを覚えて聖餐式にあずかります
2. 私たちは、永遠のいのちを持っています
3. 私たちは、罪の赦しを得ています
4. 私たちは、主と一つであることを信じます
5. 私たちは、聖徒が一つのからだであることを信じます
6. 私たちは、世をも世にあるものをも愛しません
7. 私たちは、主が来られるまで、主の死を告げ知らせます

聖餐式にともにあずかることは、聖徒にとって最大の喜びです。

聖餐式にあずかることによって、あなたは今一度「救いの喜び」に満たされます。

「救いの喜び」に輝きながら歩みましょう。あなたの隣にいる兄弟姉妹とともに。
私たちは、主が来られるまで、主の死を告げ知らせて生きるのです。

ですから、あなたがたは、このパンを食べ、杯を飲むたびに、
主が来られるまで主の死を告げ知らせるのです。

(I コリント 11：26)

あなたがたはイエス・キリストを見たことはいけれど愛しており、
今見てはいないけれども信じており、榮えに尽くせない喜びに満ちあふれています。あなたがたが、信仰の結果であるたましいの救いを見ているからです。

(I ペテロ 1：9～10)